



Kotohomu.Ilc Repository

物語世界を「生かす」ための
時代考証ライブラリー

【テーマ別深掘り編 Vol.2】



04





経済・文化編：「冒険者ギルド」はどこから来たのか？

～生活を支えるシステムの“発明”と現実～





英雄は魔王を倒しますが、その日の食事はどうやって手に入れるのでしょうか。仲間との出会いの場である酒場は、誰が経営しているのでしょうか。物語の世界に「生きた手触り」を与えるのは、こうした人々の日常を支える経済や文化のシステムです。

多くのファンタジー作品では、私たちの冒険を支える便利なシステムが当たり前のように登場します。しかし、それらの多くは、歴史の中には存在しなかった、物語のための偉大な「発明」なのです。

この資料では、世界の「日常」を支える経済・文化の仕組みについて、ファンタジーの「お約束」と史実とのギャップを深掘りします。

人々の生活のリアルな論理を知ることは、あなたの世界に、誰も描いたことのないユニークな習慣と、説得力のある葛藤を生み出すでしょう。



1.ギルド：開かれた窓口と、閉ざされた門

■【ファンタジーの定型】

「冒険者ギルド」は、出身を問わず誰でも登録できる能力主義の組織です。

その本質は、現代の「クラウドソーシングサイト」に極めて近く、ゲームの進行を円滑にするための偉大な「昭和の発明」と言えます。

■【歴史的現実】

史実のギルドは、商人や手工業者の排他的な同業者組合でした。

その目的は、競争を排除して組合員の利益を独占することであり、加入には長期の見習い制度や高額な加入金が必要な、極めて閉鎖的な組織でした。

▼創作のヒント

もし主人公が、高い技術を持つにもかかわらず、閉鎖的で腐敗した職人ギルドへの加入を拒まれたとしたら？

既存の権威に頼らず、自らの腕と仲間との信頼だけで仕事を成し遂げていく物語は、旧体制への「革命」の物語になります。



2.衛生・食文化：「改善」される過去という幻想

■【ファンタジーの定型】

主人公が現代知識で石鹼やシャンプーを「発明」し、味気ない食事を醤油やマヨネーズで「改善」する定番の展開があります。

■【歴史的現実】

衛生：入浴が稀だったのは事実ですが、それは「水が病気の感染源になる」という医学理論や、キリスト教の禁欲主義が背景にありました。

人々はリネンの下着を頻繁に着替えることで清潔を保っていました。

食文化：富裕層の食事は決して味気なくなく、富の象徴として胡椒やシナモンなどの香辛料を大量に使用していました。

保存料の主役は安価な塩であり、高価な香辛料ではありませんでした。

▼創作のヒント

現代の入浴文化を持ち込んだ主人公は、感謝されるどころか、「病気を流行らせる悪魔の使い」として宗教裁判にかけられるかもしれません。

「清潔」の定義そのものが異なる世界では、常識の違いが深刻な文化的対立を生むのです。



3.結婚：恋愛の舞台と、政略の道具

■【ファンタジーの定型】

貴族の子女が「学園」で出会い、恋愛感情を育み、その結果として婚約が結ばれます。

「婚約破棄」は、個人の心変わりによって公の場で宣言される、物語のクライマックスです。

■【歴史的現実】

貴族の結婚は、土地や権力を統合するための政略結婚が全てでした。

当事者がまだ子供のうちに、家の利益のために決められるのが通常で、個人の恋愛感情が入り込む余地はほとんどありませんでした。

▼創作のヒント

もし、隣国との和平のために政略結婚させられる王女が、護衛の騎士である主人公と恋に落ちてしまったら？

彼女が婚約を破棄することは、個人の恋愛ドラマではなく、国家間の戦争の引き金となる「反逆行為」です。

物語のスケールが一気に大きくなります。



あとがき

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

人々が何で稼ぎ、何を洗い、誰と結ばれるのか。

世界の「日常」を支えるシステムの背景には、私たち現代人の常識とは全く異なる論理が存在します。この論理を物語に組み込むことで、世界は一気に生々しく、魅力的になります。

次回予告

物語の世界観を創る上で、創作者が陥りやすい「矛盾」。

読者の没入を妨げる“ノイズ”になりがちな設定を、逆に世界の独自性に変えるための、実践的なヒントをお届けします。

物語世界を「生かす」ための時代考証ライブラリー

【テーマ別深掘り編】Vol.3『創作実践編：読者の没入を妨げる“ノイズ”の見つけ方』

ことほむ合同会社（時代考証・文化観光 ナラティブバリュー・コンサルタント）

<https://kotohomu.com>

■本資料のご利用にあたって

本書の著作権は、ことほむ合同会社に帰属します。

著作権法で認められている引用の範囲を除き、弊社の許可なく、本書の内容の全部または一部を無断で転載、複製、改変、販売、再配布することを固く禁じます。

本書に掲載された情報の正確性には万全を期しておりますが、その内容の完全性・正確性を保証するものではありません。

本書の情報をを用いて行う一切の行為について、弊社は何ら責任を負うものではありません。

© 2025 ことほむ合同会社